



おしらが。

2025年度上期活動報告について

2025/9/30

特定非営利活動法人 Oita Social Innovation Laboratory
ファウンダー 兼 ITコーディネータ 齊藤 周作

撮影場所：大分県豊後大野市三重町宮野

ご挨拶

～共創で挑む、新しい社会課題解決～

このたびは特定非営利活動法人 Oita Social Innovation Laboratory の活動にご関心をお寄せいただき、誠にありがとうございます。

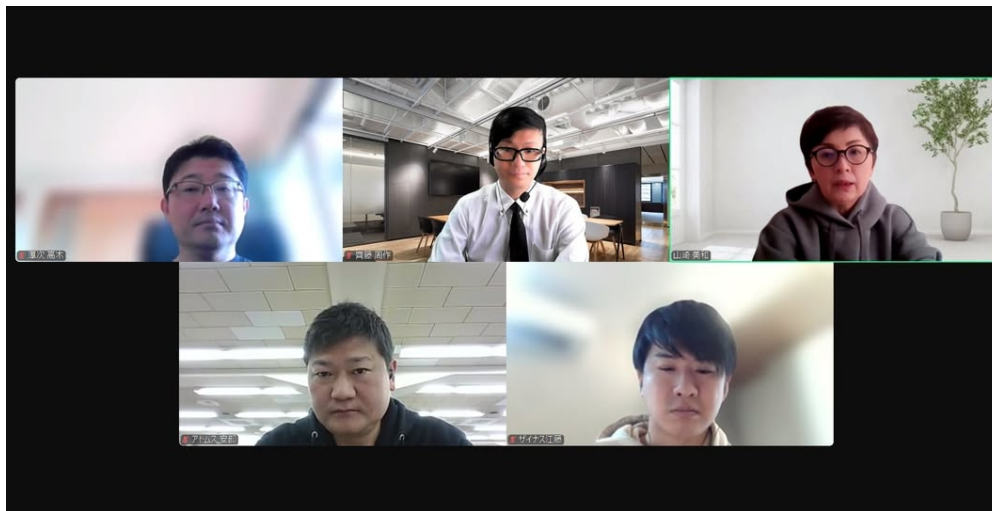
現在、大分県は人口減少に伴う担い手不足、地域経済の活力減退、V U C A (将来の予測が非常に困難な不安定な状況)へのリソース配分など、非常に多くの課題に直面しています。これらの課題は、従来のやり方では乗り越えられません。私たちは、この困難な時代だからこそ、地域課題を解決しつつ収益を生み出す「ソーシャル・イノベーション」が必要だと強く感じています。

当法人は、地域をより良くしたいという「志」を持つ個人や団体に対し、その事業アイデアが安全に、そして確実に離陸するためのインキュベーション支援を行っています。特に、S X (サステナブルトランスフォーメーション)推進を軸とした革新的な事業創出や、次世代の地域経済を牽引する人材の育成に注力しています。学生、企業、行政など、多様な主体が交わり、知識や技術を共有する「共創の場」こそが「ソーシャル・イノベーション」を生み出す源泉です。

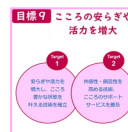
これからも、大分県内外にいらっしゃる、同じ志を持つ皆様と共に、当法人の計画に沿った活動を通じ、持続可能で活力ある地域社会の実現に貢献してまいります。皆様の温かいご理解とご支援、そしてぜひ積極的な活動への参画を心よりお待ちしております。

特定非営利活動法人 Oita Social Innovation Laboratory

理事長：高木 厚次、副理事長：安部 慎次、山崎 美和、理事議長：後小路 舞、監事：江藤 彰悟



1. 私たち(おしらボ。)について



●設立目的●

- ・VUCA時代や30年後の未来(Society5.0/SDGs/GX)を見据えた 全く新しいビジネスアイデアを創造、融合させ、大分県独自の産業を新興させること
- ・大分県に超長期で地域に活力をもたらせるビジネスアイデアを集合させ、「競争」させる前に、先ずは「共創」させ、ビジネスモデルとして安全に離陸させること

●事業内容●

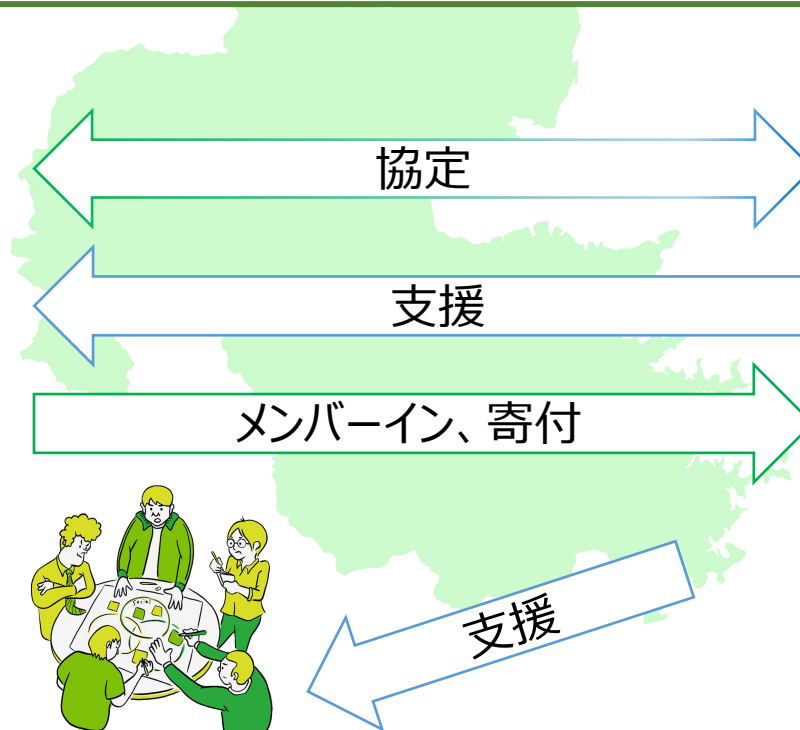
大分県民や地域活性化を志す者に対して、これまでにない地域活性化ビジネスのデザイン、開発、テストの支援に関する事業を行い、大分県内にソーシャル・イノベーションを興す企業の組成に寄与する

●事業による公益の寄与●

県内経済の発展 … 新規創業、雇用創出、域内消費の拡大、定住・移住の促進、地域経済エコシステムなど、またこれら好循環によるさらなるビジネスアイデア創出



社会課題に取り組む
個人・企業・団体



社会課題に取り組む個人・企業・団体



おしらボ。のメンバー
(経営者、起業家、専門家、学生)

※大企業によるバックアップも現在準備中。



2. おしラボ。の事業計画について



(1) 長期経営計画

当法人設立目的達成に向けた、「方向性(経営)」の安定性、「行動計画(活動)」の推進力強化を兼ね備えた長期経営計画(10年後の“目指したい”姿／ロードマップ)を策定しました。設立目的を時系列に並べ、「**方向性**(バックキャスティング)」として設定。事業内容を時系列に並べ、**行動計画**(フォアキャスティング)として設定。当法人の「事業による公益の寄与」を忘れずに、後述の中期経営計画に沿って行動します。

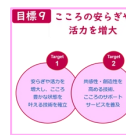
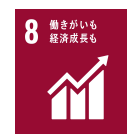
＜方向性＞バックキャスティング(Compass)

<p>設立目的 超長期で地域に活力をもたらせる ビジネスアイデアを集合</p> <p>2025年</p>  <p>2027年</p> <p>事業内容 地域活性化を志す者の探索</p>	<p>設立目的 全く新しいビジネスアイデアを創造、融合 「競争」の前に先ず「共創」</p> <p>2028年</p>  <p>2031年</p> <p>事業内容 これまでにない地域活性化ビジネスの デザイン、開発、テストの支援</p>	<p>設立目的 【おしラボ。の10年後の姿】 大分県独自の産業を新興させる</p> <p>2032年</p>  <p>2035年</p> <p>事業内容 【おしラボ。の10年後の役割】 大分県内にソーシャル・イノベーションを 興す企業の組成に寄与</p>
--	---	---

＜行動計画＞フォアキャスティング(Action)

Laborator
おしラボ。

2. おしラボ。の事業計画について



(2) 第一次中期経営計画

- ①10年後の“目指したい”姿を達成させるための、3年後の“あるべき”姿と目標(KGI&KPI)を設定し、2025年4月1日に実行開始しました。
- ②今回は2025年度から2027年度の3年間の事業にて、SX(サステナブルトランスフォーメーション)を軸とした、「超長期で地域に活力をもたらせるビジネスアイデアを集合」と「地域活性化を志す者の探索」をテーマに目標を立て、計画とおり遂行しています。

<方向性>バックキャスティング(Compass)

テーマ①

超長期で地域に活力をもたらせる
ビジネスアイデアを集合

2025年



2027年

テーマ②

地域活性化を志す者の探索

目標：ビジネスアイデアの実務検証(ビジネスコンテストで評価)

KGI・・・3年で3回ビジコンに出場／KPI・・・各事業毎に1回ビジコンに出場

3年後の“あるべき”姿

(取組)全く新しいビジネスアイデアを創造、融合、「競争」の前に先ず「共創」できる“ヒト(会員)”、“モノ(環境)”、“コト(アイデア)”が揃っている状況。→「**方向性(経営)**」の**安定性を確保**

(結果)安心して、これまでにない地域活性化ビジネスのデザイン、開発、テストの支援ができるようになる。

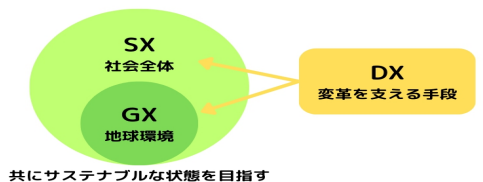
→「**行動計画(活動)**」の**推進力強化を担保**

ソーシャルイノベーションに必要な革新的取組み(トランスフォーメーション)の成果物
=SX(サステナブル・トランスフォーメーション)

社会のサステナビリティと企業のサステナビリティを「同期化」させていくこと
及びそのために必要な経営・事業変革。(出典：経済産業省/伊藤レポート)

- ◆SDGsとともに「持続的」という意味の言葉が包含。SDGsは持続的な社会、SXは持続的に稼ぐ力を指し、社会的価値と経済的価値という意味で違います。
- ◆GX(グリーン・トランスフォーメーション)はSXの一部であり、DX(デジタル・トランスフォーメーション)はSX/GXを推進する手段。

SX・GX・DXの関係性



目標：地域活性化をもたらすイノベーターやアントレプレナーなどをおしラボ。へ参画

KGI・・・3年でおしラボ。会員が50名／KPI・・・各事業毎に10名を参画

<行動計画>フォアキャスティング(Action)

Laboratory

2. おしラボ。の事業計画について

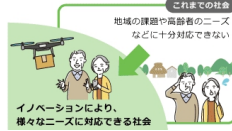
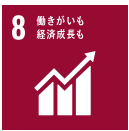


(3) 第一次中期経営計画の活動状況（2025年9月30日時点）
中期経営計画「地域活性化をもたらすイノベーターやアントレプレナーなどをおしラボ。へ参画」するテーマ1年目の目標(KPI)進捗状況は以下のとおり。
更なる会員参画のため、地域課題に取り組む組織・企業間若手交流会の活動スキームに協力し、若手も参画できる基盤を作る計画です。

No.	大分県への報告/提出事項					第一次中期経営計画（2025年度計画進捗）	
	事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施予定日時 (B)当該事業の実施予定場所 (C)従事者の予定人数	(D)受益対象者の範囲 (E)予定人数	事業費の予算額 (単位：千円)	目標 (KPI)	達成状況
1	社会教育の推進を図る活動 (イノベーション人財の発掘・教育)	Oitaイノベーターズコレ ジオのOBや新規参加 者から本法人の対象と なるイノベーション人財 の発掘・教育を図る	(A)当該事業計画期間内において 複数回実施 (B)コレジオ大分(大分市)および インターネット上のコミュニティにて (C)4名	(D)当該コミュニティに 参加する者 (E)100名を想定	10	ヒト(会員) イノベーション人財発 掘・教育を通じ、最低 10名をおしラボ。へ参 画	未達成 実績3/目標_10
2	経済活動の活性化を図る活動 (オープンイノベーション支援活動)	事業アイデアのデザイン、 ブラッシュアップを図る。	(A)当該事業計画期間内において 複数回実施 (B)コレジオ大分(大分市)および インターネット上のコミュニティにて (C)4名～	(D)当該コミュニティに 参加する者 (E)100名を想定	10	コト(アイデア) デザイン、ブラッシュアッ プした事業アイデアを もとにビジネスコンテス トに最低1回出場	達成済 実績_2/目標_1 ※出場者に偏重の課題あり。 より多くのリーダー(フォロワー)の 排出が必要
3	職業能力の開発又は雇用機会の 拡充を支援する活動	調査・研究	本事業年度中の実施予定無	-	-	-	
4	前各号に掲げる活動を行う団体の 運営又は活動に関する連絡、助言 又は援助の活動	事業準備(戦略立案)	本事業年度中の実施予定無	-	-	-	
5	前各号に掲げる活動に準ずる活動 として都道府県又は指定都市の条 例で定める活動	事業準備(戦略立案)	本事業年度中の実施予定無	-	-	-	



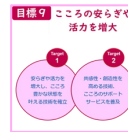
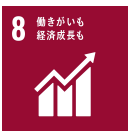
3. 2025年度役員の再任について



理事会役員全員は当法人設立当初の役員任期満了となりましたが、中期経営計画開始後の運営を定着させるべく、2025年7月27日開催の第一回臨時総会にて会員から再任の承認をいただき、2027年3月31日まで留任となることとなりました。

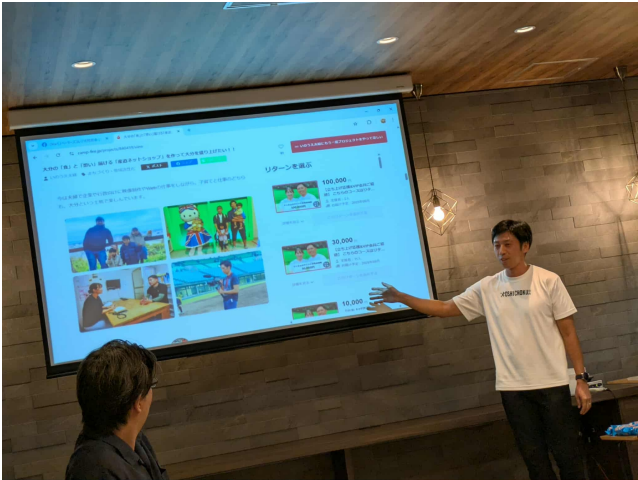
No.	役職	氏名	再任とした理由	NPO法人のサステナビリティ・スキル			
				組織経営	事業経験	イノベーション	多様性
1	理事長	高木 厚次 再任	県内企業の経営者(経営学修士/MBA取得)。当法人設立当初から多くの活動に参画されており、当法人の経営にも積極的。ファウンダー／コーディネータとしても、本法人の持続的な運営のため再任を推薦する。	○	○	○	
2	副理事長	安部 慎次 再任	県内企業の経営者。県内企業のデジタル化を通じたサステナビリティへの取組みに積極的。当法人設立当初から多くの活動に前向きに参画。ファウンダー／コーディネータとしても、本法人の持続的な運営のため再任を推薦する。	○	○	○	
3	副理事長	山崎 美和 再任	個人経営者。D&Iを通じたサステナビリティへの取組みの積極的。当法人設立当初から多くの活動に参画されており、当法人の経営にも積極的。ファウンダー／コーディネータとしても、本法人の持続的な運営のため再任を推薦する。		○	○	○
4	理事議長	後小路 舞 再任	経営者以外。ブランディングを通じた企業のサステナビリティへの取組みに積極的。当法人設立当初から多くの活動に前向きに参画。ファウンダー／コーディネータとしても、本法人の持続的な運営のため再任を推薦する。		○	○	○
5	監事	江藤 彰悟 再任	県内企業の経営者。本法人のサステナビリティに必要なスキルを兼ね備えており、当法人設立当初から経営監査にも積極的。ファウンダー／コーディネータとしても、本法人の持続的な運営モニタリングのため再任を推薦する。	○	○	○	○

4. 活動状況（上期活動サマリー）

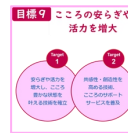


2025年4月1日(火) から 2025年9月30日(火)までの活動内容は下記のとおりです。

No.	活動内容	日時・場所など		備考
1	第一次中期経営計画スタート	2025/4/1	-	
2	理事・会員との勉強会、ビジネスアイデアの導出	2025/4/10	コレジオ大分	
3	理事・会員・企業様との研究会／県内組織向け提案	2025/5/28	非公開、大分市内	
4	A I を活用したビジネスコンテストに挑戦	2025/6/1	Web会議	SIH国際ビジネスコンテスト2025、決勝進出。決勝は日程都合により出場辞退。
5	Oitaイノベーターズコレジオ向け当法人の説明会	2025/6/18	非公開、大分市内	
6	理事・会員・企業様との交流会	2025/7/5	コレジオ大分	
7	2025年度第 1 回理事会	2025/7/22	Web会議	
8	2025年度第 1 回臨時総会	2025/7/27	Web会議	
9	OitaイノベーターズコレジオOB/OG向け交流会(兼、勉強会)	2025/9/14	コレジオ大分	
10	A I を活用したビジネスコンテストに挑戦	2025/9/18	-	九電グループオープンイノベーションプログラム「ひらめきと共創」、一次選考で落選。



5. 今後の活動について



(1) Oitaイノベーターズコレジオとの更なる連携

- ①Oitaイノベーターズコレジオ（以下、OIC）は、イノベーションを起こす「学びの社交場」として大分の将来と地域活性化を担う方々に対し、「オープン・イノベーション」「ダイバーシティ」「リベラルアーツ」をキーに多彩な分野の講師陣を招き、共に学び、知識と人脈を築き、その学びとネットワークと情報をアウトプットし、大分からイノベーションを生み出す人材育成を目的として(株)Zynasが「非営利事業」として運営されています。
- ②一方で、OICは「公共性の高い事業(非収益事業)」であること、「人材育成プログラム後に“大分からイノベーションを生み出す人材”として活躍できる場面が整備できていないこと」の2つの課題を抱えている状況です。
- ③本法人はOIC基点で誕生した経緯もあり、「OICの課題を解決できること」、「持続的な人材確保の手段となること」、「連携強化でよりシームレスに長期経営計画の運用が出来ること」から、より強固な連携手段を検討開始し、実行予定としております。

(2) 若手中心の県内組織との更なる連携

- ①大分県内で働く「若手」が中心となって活動する組織(詳細非公開。以下、「グループ」と呼称します)が“官民協働による具体的な地域課題へのアプローチ”を目標と掲げています。
- ②当法人ではグループの目標に対して、具体的なアクションが取れるよう支援し、グループで発見した地域課題に対し、企画して実行に移せるよう協力を行ってまいります。





End of Presentation

撮影場所：大分県佐伯市鶴見大字梶寄浦